

(初心者向けCM制作塾)
—池田定博氏による講義内容—

- (約10分間CM視聴後)
- 何を言うか決める。これが決まると制作がうまくいく。
 - 単語や文書をたくさん書いて考える。

(以下のテーマから浮かぶ言葉を受講者に答えてもらった)
・きゃりーぱみゅぱみゅ ・大阪マラソン

- 大阪マラソンから浮かぶ言葉
「大阪のええところを見れる」これは制作上、順当な言葉。「しんどい、よう走らん」は制作上、反対から入る言葉。

- 何を言うには5つの考え方がある。

- ・誰が言うか
- ・何を言うか
- ・誰に言うか
- ・どこで言うか
- ・どのように言うか

- 5つの考えをもとに、相手に興味をもってもらい、相手の心を引き留めたら伝えたいことを順番に言う内容構成とする。

- CM制作はまず、言いたいことが決まったらキャッチコピーを考えて、絵コンテを描く。絵コンテはCMの設計図。
言いたいことを考える→キャッチコピーを考える→絵コンテ作成(下から上へ構成を考えて描く)→上(前半)のギャップを考える。

- 絵コンテは言いたいことを言うのではなく、相手の知りたいことを相手の気持ちにたって書く。

- 勉強には、「よいキャッチコピーを写経」「○○文庫を100冊読む」「映画、美術館に足を運ぶ」

(質疑応答)

Q 30秒のCM制作にかかる期間は？

A 短くて1か月、長くて3か月

Q CMはドラマ仕立てがよいのか商品重視がよいのか？

A イメージアップにはドラマ仕立て、販促は商品重視がよい。

Q スマホでも制作可能か？

A スマホで撮影した画像を処理できるソフトがあるなら可能。

Q 監督に自分のイメージをどう伝えるか？

A 絵コンテで伝える。

Q キャッチコピーをつくるのに、いくつぐらい考えるか？

A 20ぐらい考えたら止まる。50ぐらい考えていいのが出てくる。
考えの切り口が変わると増える。

Q 頭の中で映像が固まった場合はどうするか？

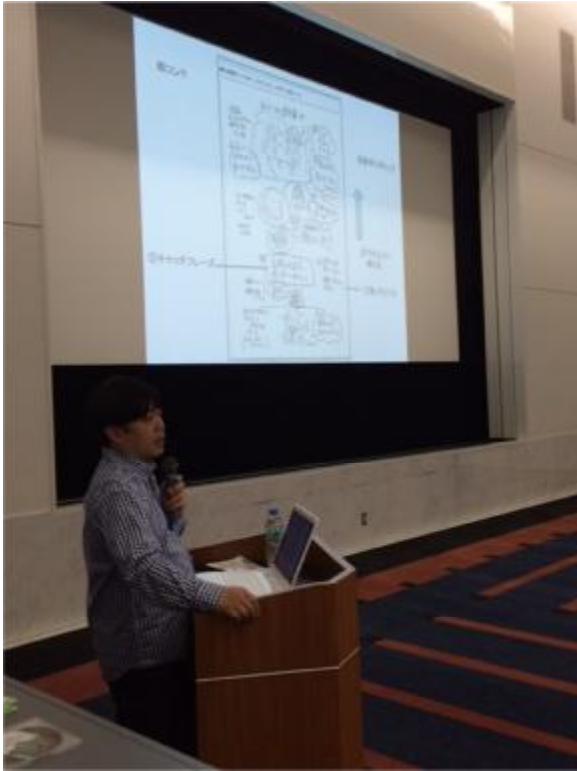
A 固まったものを徹すか、スポンサーが望むものに変えるか否かはクリエイターによる。

Q 行き詰ったらどうする？

A まわりに相談する。

Q 60秒のCMは30秒とどう違うか？

A 言いたいことは変わらず、関係のないただし、人を引きつける演出が入ること。



△池田定博氏



△全体風景